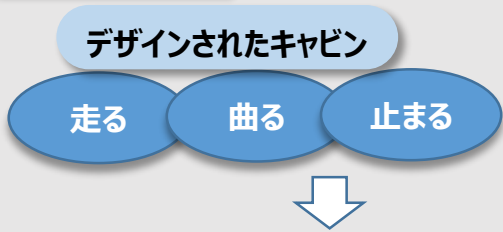


クルマの価値（将来のクルマの価値を考える）

中村 健

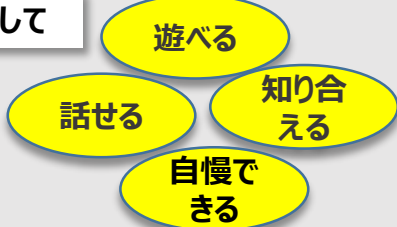
クルマの4要素



道具として



対象として



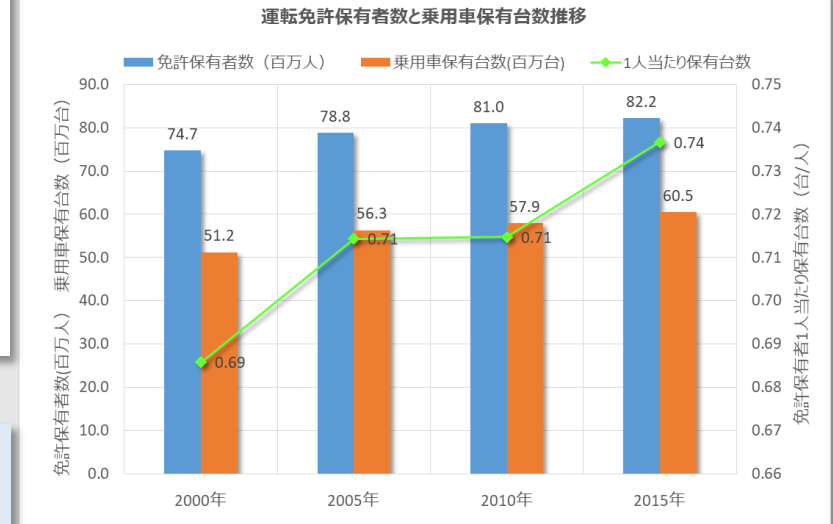
… 移動できる、目的地まで行ける  
⇒ 機能的価値

クルマが提供してきた価値

… することができる ⇒ 情緒的価値

免許保有者当たりの乗用車保有台数は上昇中（日本）

- ✓ 日本の自動車免許保有者数はまだ増加傾向にある
- ✓ 乗用車の販売台数は400万台で頭打ちだが、保有台数は伸びている
- ✓ 免許保有者当たりの保有台数が増加すると共に、クルマの利用期間が延びている



Data Source : 警察庁、自動車検査登録情報協会

まだクルマは必要とされている、価値ある存在？

クルマはどんな価値を提供できるのか？

- \* 快適性向上
- \* 交通事故回避
- \* 交通渋滞の低減
- \* 交通弱者対応
- \* 運転環境改善
- ……

新しいベネフィットは？

自動車産業と車の価値に影響を及ぼす4つの因子…CASE

- Connectivity**
  - ✓ IoTやtelematicsが車車間、車基地間、車家間の連携を可能にし、様々なサービスが登場
- Autonomous driving**
  - ✓ 各種センシング技術とAIの発達により、ADASや自動運転が導入される
- Sharing**
  - ✓ UberやCar2GoなどのSharingサービスが先進市場で拡大しつつある
- Electrification**
  - ✓ 環境対応のため、パワートレインの電動化、各種動作部の電動化が進行する

自動車産業への影響

- ⇒ 運転操作の自動化に留まらず、各種センサーとAIによる知能化が進み、各種情報の車・基地間通信、車・車間通信による種々のサービスが開発される。自動車会社は以下に付加価値の高いサービスを提供できるかがカギとなる。
- ⇒ いかにかクルマを使ってもらうかがカギとなる。
- ⇒ EV化、電動化で構成部品が大きく変わるため、部品産業構造が大きく変わる。インフラ側も、ガソリンスタンドが電気スタンド、水素スタンドへの転換が必要となる

## Sharing



- メルセデスベンツは欧州、米国の各地でSharing – Service “CAR2GO”を展開している。CAR2GOはSmart、A-Class、GLAで提供されている。
- 中国では、Sharing自転車が多数利用され、地下鉄入り口など市内のいたるところにある。オレンジ色の“mobike”と黄色の“ofo”が競合。99元のDepositで会員になれば、1円で1時間乗り放題。

Systemが提供する価値は  
 → **好きな時に（ほぼ）自由に使える便利な足**

## Connectivity



- Trakm8社(UK)が4G-Telematics対応車載カメラを発売。

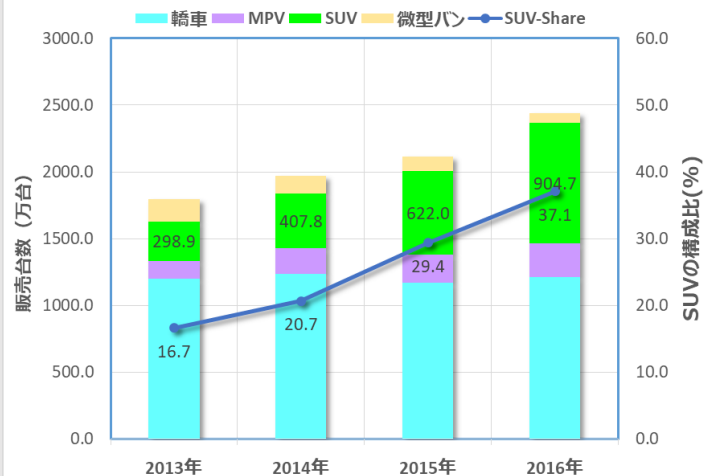
→ どんな価値を生み出すか ???



- 走行中に画像をCloud-Serverに自動転送するなら：
    - 出掛ける先の道路混雑状況、天候などを事前に確認することが出来て、道路選択を楽にできる。 **Convenience**
  - 駐車中の画像をCloud-Serverに自動転送するなら：
    - クルマの盗難防止、付近の犯罪防止カメラ役 **Security**
- .....

## 新興市場ではクルマ固有の価値が生きる

中国の乗用車販売台数



- 中国市場でSUVが急増し、2016年で905万台。背景に、所得の高い都市住民の旅行熱がある。

- SUVは十分な広さのキャビンと荷室があり、車高が高いため「どこへでも行ける」



- SUVは「新しい経験をさせてくれる（非日常の世界へ行く）道具」として存在。

### クルマの4要素

デザインされたキャビン  
 走る 曲る 止まる

### 道具として

自由に  
 速く 快適に  
 安全に

### 対象として

遊べる  
 話せる 知り合える  
 自慢できる

… 移動できる、目的地まで行ける  
 → 機能的価値

… することができる → 情緒的価値

### クルマ固有の価値

2025年頃～  
 先進国市場を中心に

新たなベネフィット  
 を生み出す

周辺にある種々の情報や  
 機能と結合した  
 システムとしての価値

近未来に向けて